

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.12 2004 年 10 月 25 日

| 目 次 | |
|----------------|------|
| 研修会のおしらせ | 1 |
| 研修会報告、他 | 2 |
| 実態調査委員会 | 3 |
| 施設紹介 | 4 |
| 臨床こぼれ話 | 5 |
| 理事会等報告 | 6 |
| 求人情報 | 7, 8 |
| 事務局から | 9 |

学術局から

1. 研修会のおしらせ (別紙もご参照ください)

平成 16 年度第 3 回研修会

研修会を次のように計画しています。「新生児聴覚スクリーニング」をテーマに講演と県内の現状をふまえたシンポジウムを予定しています。言語聴覚士にも関係の深い事業ですので是非ご参加下さい。

* 日 時 平成 16 年 12 月 5 日 (日) 13 時 ~ 16 時 30 分

* 会 場 千葉大学附属病院 3 階第 2 講堂 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

* シンポジウム

基 調 講 演 「新生児聴覚スクリーニングの現状と展望」

講 師 工 藤 典 代 先生 (千葉県こども病院耳鼻咽喉科)

シンポジスト 福 島 朗 博 先生 (筑波大学附属聾学校乳幼児教育相談室)

齊 藤 真 純 先生 (千葉県こども病院耳鼻咽喉科)

田 辺 佳 子 先生 (千葉市療育センターやまびこルーム)

手話通訳、要約筆記による情報保障をします。

* 参加費 会員・会友無料、会員外 1000 円、学生 500 円

* 申し込み及び問合せ先：

〒272-0823 市川市東菅野 2-12-4 市川ことばの会 野島洋子

TEL:047-324-4348 FAX:047-324-4348 (電話でのお問合せは 18:30 以降にお願いします)

2. 平成 16 年度第 2 回研修会報告

平成 16 年 9 月 25 日 (土) 千葉県こども病院第 1 会議室にて、今年度の第 2 回研修会を開催しました。今回は小児の症例検討会を行いました。発表者および助言者は下記のとおりです。参加者は 32 名 (うち会員・会友 18 名、会員外 14 名、) でした。当日行ったアンケートの結果を一部ご紹介します。

テーマ：「ADHD が疑われる小学 2 年生の指導 関係機関との連携をととして」

発表者：渡邊 裕貴先生 (印西市こども発達相談室)

齊藤 恵美子先生 (印西市立内野小学校ことばの教室)

助言者：森永 良子先生 (白百合女子大学)



<アンケート結果より>

- ・ 地域で子どもの育ちを支えるとき、長くつなげるあるいは横に広がるネットワークがそれぞれの市町村に作られることの大切さを思いました。
- ・ 各担当の連携、早い対応、子供の成長のために必要と思われる事に積極的に取り組んでいらっしゃる事例を聞くことができました。事例を通しての発表でわかりやすかったです。
- ・ 1 ケースについて幼児期から就学後までの連携のとり方について、他市においての現状を把握することができました。今後、参考になる部分を活かしていくことができればと思いました。
- ・ 軽度発達障害の子どもたちにとって、ひとりの子に関わる各関係機関の連携がとても大切なのですが、なかなかうまく機能しません。でも、そのためには何が必要なのか、私達は何から手をつけていけばいいのか、わかったような気がします。
- ・ 各教育機関の連携の大切さと難しさを感じた。ことばの教室担当者として学級担任、保護者の橋わたしができるよう、今後工夫していかなければならないと思った。
- ・ 時間が足りなくなってしまったのが惜しい。協議ももっと長く、たくさんの意見を聞きたかったし、それに対する講師の先生の話もききたかった。教育と関連機関との協力が自分の地元だけでなく、他のところも問題が多いということを痛感した。

<学術局より>

研修会へのご参加とアンケートのご協力ありがとうございました。幼児期の担当者、小学校の担当者、ソーシャルスキル担当者、通常学級担任がうまく連携して、コミュニケーション障害のある児を支援したという報告でした。今後、各地域でそれぞれの担当者がさらに連携していくきっかけになればと考えました。また、研修会の終了時刻が予定を超過し、参加者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことをお詫びします。今後とも研修会へのご参加とご意見をお待ちしています。

3. 研修会ビデオの貸し出し

これまでに行った研修会ビデオの貸し出しを行っています。下記の要領でお申し込みください。

貸し出し期間：1 ヶ月

方法：返信用封筒（B5 または A4 サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1 本 270 円分、2 本 390 円分）を貼って送ってください。

あて先：〒266-0005 千葉市緑区誉田町 1-45-1 千葉県袖ヶ浦養護学校 小学部 野島 洋子

貸し出しビデオ：

- | | |
|---|-------------------------------|
| 「ST がおこなう高次脳機能障害の臨床」 | 講師 鈴木 勉先生（東京都立墨東病院） |
| 「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」 | 講師 長澤 泰子先生（日本橋学館大学） |
| 「脳卒中中の摂食・嚥下障害-臨床の実際-」 | 講師 矢守麻奈先生（都立駒込病院） |
| 「重複障害児の AAC - 日常生活と ST 訓練を結ぶ」 | 講師 知念洋美先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター） |
| 「記憶障害の臨床像と対処法-症例を通して-」 | 講師 安田清先生（千葉労災病院） |
| 「慢性期重度コミュニケーション障害者への支援 - 通院及び通所（デイケア）リハビリテーションにおける言語訓練と生き甲斐作り - 」 | 講師 横張琴子先生（松戸神経内科） |
| 「コミュニケーションの発達と支援 - 前言語期から言語獲得に向けて - 」 | 講師 長崎勤先生（筑波大学） |
| 「脳外傷の高次脳機能障害 - 認知・コミュニケーション障害の評価 - 」 | 講師 藤田郁代先生（国際医療福祉大学） |

***貸し出しについての注意**

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

3. 研修会資料の送付

希望者に研修会資料の配布を行っています。返信用封筒(A4サイズ)に住所、氏名を書き、切手(200円分)を貼って送ってください。あて先はビデオ貸し出しと同様です。

対象資料：上記のビデオ、の資料及び下記のとおりです。

症例検討会「成人の高次脳機能障害」

発表者：武田智子先生(千葉中央リハビリテーションセンター 前・加曽利病院) 酒井千代先生(佐倉ホワイエ)

助言者：鈴木勉先生(都立大塚病院) 相見優子先生(下総病院他)

症例検討会「小児のコミュニケーション障害」

発表者：小宮山則彦先生(亀田クリニック) 依田美都先生(帝京大学市原病院)

助言者：田中康雄先生(国立精神・神経センター国府台病院) 知念弘美先生(千葉県千葉リハビリテーションセンター)

脳外傷の高次脳機能障害 - 認知・コミュニケーション障害の評価 - 」 講師 藤田郁代先生

症例検討会：「ADHDが疑われる小学2年生の指導 関係機関との連携をととして」

発表者：渡邊 裕貴先生(印西市ことばの発達相談室)

齊藤 恵美子先生(印西市立内野小学校ことばの教室)

助言者：森永 良子先生(白百合女子大学)

4. 地域の勉強会について

昨年度から会員の皆様のご協力により、地域の勉強会が開催されています。同封の「千葉県内で行われる地域の勉強会情報」をご参照の上、奮ってご参加ください。また、ホームページではこの情報について随時更新を行っていますので、ぜひご利用ください。希望者にはメールマガジンでのアナウンスも行っていますので、そちらもご参照ください。

5. 「学術局 ネットワーク名簿」の更新について

学術局では、会員・会友のネットワーク作りを進めるため、対象領域別(小児・成人)の「学術局 ネットワーク名簿」を作成しています。今年度も名簿の更新を行いますので、変更のある方や新規に登録される方は、同封の用紙にご記入の上、ご返送ください。

社会局から

実態調査委員会について

前号でもお知らせしましたが、前年度に引き続き、実態調査委員会の設置が決定されました。今年度は“特別支援教育プログラム”に關しての調査・研究を行います。第1回委員会は平成16年9月26日(日)に高洲コミュニティーセンターにて開催され、今年度の調査に關しての協議がなされました。

委員長：未定

委員：太田律子(市川市総合福祉センター発達支援課ことばの相談室)

知念洋美(千葉県千葉リハビリテーションセンター)

長谷川啓子(千葉大学医学部附属病院)

松本恵子(八千代市勝田台小学校)

野島洋子(袖ヶ浦養護学校)

担当理事：勝又綾子

実態調査委員会では、引き続き委員を募集しております。特別支援教育プログラムには、さまざまな立場にいるSTが関わることを考えられます。多くの方のご意見をお聞きし、県士会としての意見をまとめたいと考えております。ご協力いただける方は、ぜひご連絡をお願いいたします。社会局担当勝又まで メール：chibakenshikai@zp.moo.jp

施設紹介

JFE 健康保険組合川鉄千葉病院

..... ST 倉持 裕子

(旧 川崎製鉄健康保険組合千葉病院)

[病院紹介]

平成 15 年 4 月より、母体である川崎製鉄と日本鋼管の統合で、病院名が変わりました。病院名がどうなるか危惧しましたが、それまでの通称「川鉄千葉病院」をそのまま使うことになり、患者様、職員とも混乱なく移行することができました。診療科目 16 科、病床数 360 床で、千葉県の救急二次指定病院として救急医療、地域医療を担っています。JR 蘇我駅 (JR 千葉駅から 2 駅目、内房線と外房線の分岐点) から徒歩 5 分に位置し、便の良さから市外より通院される方も多いです。

平成 15 年 9 月には日本医療機能評価機構の認定病院になり、又、今年 4 月より臨床研修医病院に指定されました。

[リハビリテーション科及び言語聴覚療法部門]

リハビリテーション科 (昭和 51 年新設) に言語聴覚療法部門が開設されたのは平成元年 4 月です。

現在当科は、PT8 名、OT3 名、ST1 名、マッサージ師 2 名、鍼灸師 1 名、受付事務員 1 名で構成されています。PT、OT は徐々に増員していますが、ST は今以上の部屋の確保が難しく、残念ながら増員は見込めない状況です。

当院は 1 ~ 2 ヶ月で退院される方が多いので、言語聴覚療法の対象も入院患者様より外来患者様が圧倒的に多く、又、その約 8 割が失語症の方です。患者様が望む限り通院していただいているので、10 年以上のお付き合いになる方も数名います。患者様一人一人としっかり向き合って臨床に励みたいと思います。所在地：〒260-0842 千葉市中央区南町 1-11-12 TEL：043-261-5111 FAX：043-261-2305

亀田メディカルセンター

..... ST 根本達也

(亀田総合病院リハビリテーション室)

当センターは南房総の鴨川市に位置し、亀田総合病院 (急性期) 亀田リハビリテーション病院 (回復期、2004 年 6 月開院) 亀田クリニック (外来) と主に 3 つの施設を有しています。それぞれの施設で言語聴覚療法の施設基準を取得、計 12 名の ST が所属しています。

亀田総合病院の対象疾患は、失語症、構音障害、高次脳機能障害、音声障害、摂食・嚥下障害など、主に急性期の成人が対象です。神経内科・脳神経外科が中心ですが、口腔外科、救命救急科、心臓血管外科など、依頼科も多岐にわたり、進行性神経筋疾患などのコミュニケーション代替手段の獲得、人工呼吸器・気管切開下の発声及び発語練習、高次脳機能の術前術後評価なども行っています。中でも摂食・嚥下障害に対しては栄養室と連携のもと嚥下食を導入し、栄養サポートチーム (NST) 体制をとって行っています。

亀田リハビリテーション病院も主な対象疾患は総合病院と同様ですが、急性期治療を終えた方が中心です。他職種との連携を図りながら自宅復帰、社会復帰を主な目標とし、積極的な練習を行っています。

亀田クリニックでは、成人と小児が対象です。成人は回復期・維持期が中心で、グループ練習を行うなど、コミュニケーション能力を高めることにも力を入れています。小児は、言語発達遅滞、機能性構音障害、口蓋裂、自閉性障害、ADHD、学習障害、脳性麻痺などを主な対象とし、個人治療の他、自閉症児の親の会を開催し、勉強会や交流の場を提供しています。

所在地：〒296-0041 鴨川市東町 929 TEL：0470-99-1210 FAX：0470-99-1120

亀田メディカルセンター <http://www.kameda.or.jp>

臨床こぼれ話

ST としての 50 年を振り返って（前半）

若い皆様にとってはちょっとかび臭い...昔の ST の話をさせていただきます。

日本では、昭和 30 年代後半頃から言語治療教室という形で言語障害児へのサポートが始まり、公的なものが中心になって（文部省関係としては、大学の研究室・言語治療教室...、厚生省関係としては国立病院・国立聴力言語障害センター・障害福祉センター等）進められてきました。

しかし、それ以前から、民間では井沢修二氏の提唱された吃音矯正の手法の流れが、日本の言語障害者の悩みに対しての支えの場となっていました。

私が ST という仕事に出会ったのは、教職のポストを探しているとき、たまたまスタンフォード大学で言語病理の臨床を学んでこられた故浜本幸之氏に出会ったことがきっかけです。

父君が始められた吃音矯正の施設に言語発達遅滞の部門を新設したいということで、職員として、言語障害の概念・言語病理・治療のプロセス・手法などの学習、セラピーの実習などの指導を受け、昭和 34 年から実務に就きました。氏はその後再度渡米され A・S・H・A の「言語病理臨床治療許可」の資格を取得され、昭和 40 年に東京スピーチクリニックを開設されました。

当時はスピーチ・セラピーといっても、社会的にまったく認知されていませんでした。しかし、隠れたニーズは多く、相談するところもなく、まして訓練の場も少ないことから大事な時期を逃してしまうということが多かった時代でした。

戦後日本でも、アメリカの制度に倣って千葉市立院内小学校に言語治療教室ができるに及んで、野火の広がるように、隠れていたニーズが表に出てくるようになり、言語障害ということばも一般的に理解されるようになりました。同じ頃、国立の ST 養成施設（現在の所沢リハビリテーションセンターの前身）ができ、本格的な ST 養成が始まり、狭き門をくぐった有能な ST が各方面で活躍を始められ、一方海外で力をつけた学者の方々が大学で言語病理学の講座を開かれ、言語障害に関する書籍も少しずつ出版されるようになりました。

初めの頃は、相談の大半は吃音、ことばの遅れ、脳性まひ、口蓋裂などでした。（聴覚障害については聾学校へというルートが確立していましたが、軽度・中等度難聴の子どもさん達が次第に地域の学校に通いながら訓練を希望する方も増えてきました。）

子どもの吃音について言えば、相談数は多かったのですが、内向化の時期は現在に比べると早かったような気がします。

口蓋裂の状況はとても辛いものでした。手術の手法が未熟な時代でしたので、術後もろう孔が残存したり、呼気の鼻漏出が改善されていないものが多く、発音訓練でカバーするにはあまりに困難なものがたくさんありました。さらに、手術の費用も保険の適用が最初の縫合のみだったため、経済的な負担が大きく、言語訓練まで手が回らない方も多かったものです。（次号に続く）

元 渡邊スピーチクリニック 渡邊優文子

「臨床こぼれ話」への投稿をお待ちしております。送付方法は、郵便、FAX（送付票付）または E-mail で「事務局」あてにお願いします。

次号は渡邊先生のお話の後半になります。

どうぞお楽しみに！！

理事会・委員会報告

平成 16 年度理事会報告

第 5 回

日時：2004 年 7 月 16 日（金）20：00～23：00 場所：理事自宅

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、村西(以上理事 6 名) 田中（書記）

（会長より） ・他関連職能組織からの送付物について ・PT,OT,ST 役員連絡会について

（事務局より） ・平成 16 年度千葉県言語聴覚士会年間活動計画について ・新入会員、会友の承認について

・千葉県士会ニュース No.11 について

（学術局より） ・第 23 回関東甲信越ブロック理学療法士学会の情報提供と参加申し込みについて

・平成 16 年度第 1 回研修会の報告について ・平成 16 年度第 2 回、第 3 回研修会について

・千葉県内で行われる地域の勉強会について ・日本言語聴覚士協会の生涯学習システムへの対応について

（社会局より） ・特別支援教育プログラムに関する調査・研究について ・実態調査委員会メンバーの人選について

（新生児聴覚スクリーニング委員会より） ・第 6 回、第 7 回委員会の報告について

第 6 回

日時：2004 年 8 月 13 日（金）20：10～23：00 場所：緑ヶ丘公民館 小会議室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、野原、村西(以上理事 7 名) 田中（書記）

（事務局より） ・理事会会場について ・印刷物の印刷製本業者依頼について ・賛助会員に関する規定について

（学術局より） ・平成 16 年度第 2 回研修会について ・日本言語聴覚士協会の生涯学習システムへの対応について

（社会局より） ・情報公開に関するアンケートについて

第 7 回

日時：2004 年 9 月 20 日（月）13：20～16：10 場所：高洲コミュニティーセンター 第 2 サークル室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、野原、村西(以上理事 7 名) 田中（書記）

（事務局より） ・ハイリハちば「テンション ハイリハちば!! 2004」後援依頼について

・千葉県士会ニュース No.12 について ・広告記載規定について ・賛助会員入会申込書について

（学術局より） ・平成 16 年度第 2 回、第 3 回研修会について

・地域の勉強会に送付する生涯学習システムの説明文について

（社会局より） ・特別支援教育プログラムに関する調査・研究について

地域組織委員会の報告

第 1 回

日時：2004 年 6 月 26 日（日）13：00～16：00 場所：千葉市療育センター

出席者：五十部、高橋、武田、田辺、村西、野原（書記） 欠席者：長崎

・今年度の活動方針について ・今年度の RST と都道府県士会の連携について ・総会で説明する内容について

・今年度の活動（リスクマネジメント・生涯学習システム）について ・理事会への依頼について

実態調査委員会の報告

第 1 回

日時：2004 年 9 月 26 日（日）10：00～12：00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：太田、知念、長谷川、松本、野島、勝又（理事）

・現状の報告 ・活動方針に関しての協議

新生児聴覚スクリーニング検討委員会の報告

第 4 回

日時：2004 年 8 月 29 日（日）10：00～12：00 場所：千葉市療育センター 第 3 会議室

出席者：岡田、荻洲、斎藤、庄司、高橋、村西、三原（書記）野島、勝又（理事）

・研修会について ・保護者向けパンフレットについて ・母子手帳記載内容について

・聴覚検査フローチャートについて

第 5 回

日時：2004 年 9 月 23 日（日）10：00～12：00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：岡田、荻洲、斎藤、庄司、高橋、村西、野島、勝又（理事）

・研修会について ・パンフレットについて

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）

..... 求人情報

詳細は、千葉県言語聴覚士会ホームページをご覧ください。

坂の上外科

職種：言語聴覚士 常勤もしくは非常勤 1 名

施設概要：一般外来リハ、通所リハ、訪問リハ

待遇：当院規定優遇 勤務時間：8 時 30 分～17 時 30 分（応相談） 勤務日：応相談

TEL 043 - 294 - 5551 FAX 043 - 294 - 6513 担当：リハビリテーション科 PT 波平（なみひら）

成 田 病 院 急募

職種：言語聴覚士 常勤 1 名 対象：成人（失語、構音障害、嚥下障害等）

条件：国家資格取得者、経験年数 3 年未満の方 採用時期：随時

成田市押畑 896 TEL 0476-22-1500(代) 総合リハビリテーション科長 奥山

千葉徳洲苑

職種：言語聴覚士 非常勤 1 名 （できれば経験者、出勤日数は相談に応ず）

対象：入所 100 人、デイサービス定員 60 名 採用時期：随時 給与：時給 1,500 円

その他：交通 新京成高根公団駅 千葉徳洲苑は送迎バスが出ます。

〒274-0068 船橋市大穴北 7-22-1 TEL 047-457-8411 FAX 047-457-9800 担当：中澤

総 泉 病 院

募集：言語聴覚士 常勤 1 名 対象：成人（失語症、構音障害、嚥下障害）

採用時期：随時

千葉市若葉区更科町 2592 TEL 043-237-5001 リハビリテーション科 担当：宮崎・田中

袖ヶ浦市幼児ことばの相談室

募集：幼児ことばの相談員 1 名 勤務：1 年間 週 2 回

給与：月額 8,400 円 交通費の支給なし

TEL 0438-62-2111（内）326 FAX 0438-63-1310 袖ヶ浦市役所厚生課 担当：松野

成田市ことばの相談室

募集：言語聴覚士（小児臨床の経験者・要免許）1 名

対象児：言語発達遅滞・脳性まひ・構音障害・聴覚障害・吃音など

勤務時間：月～金 8：30～17：00 雇用期間：1 年（平成 16 年 4 月～平成 17 年 3 月）

時給：1,160 円 成田市保健福祉館健康管理課（ことばの相談室）TEL 0476 - 27 - 1111 担当：斉藤

特別養護老人ホーム あすみの丘

募集：言語聴覚士 非常勤 1 名(経験ある方尚可)
対象者：特養入所者 50 人 デイサービス 30 人の一部
勤務日：平成 16 年 4 月から 週 2 回 2 時間/回 (曜日・回数・時間は応相談)
千葉県四街道市大日 1623-1 TEL 043-421-5188 FAX 043-421-5189 担当：星

浅井病院

募集：言語聴覚士 常勤・経験者希望
対象：成人の失語症、dysarthria、摂食・嚥下障害等
〒283 - 8650 千葉県東金市家徳 38-1 TEL 0475-58-5000 (代表) 担当：企画管理 浅岡・ST 若梅

小張総合病院

募集：言語聴覚士 勤務日：4 週 8 休 勤務内容：成人、小児の言語障害
採用時期：随時
給与：当院規定により優遇 経験加算あり 賞与：年 2 回
〒278 - 8501 千葉県野田市横内 29 - 1 TEL 04 - 7124 - 6892 リハビリテーション科 小林

塩田病院

募集：言語聴覚士 新卒・経験者問いません 常勤 2 名
勤務開始時期：6 月から随時
対象：主に成人、失語症及び dysarthria、嚥下障害
千葉県勝浦市出水 1221 電話 0470 - 73 - 1221 リハビリテーション科 PT 宮島 ST 斎藤まで

八千代ケアセンター

募集：言語聴覚士 施設区分：介護老人保健施設 勤務時間：午前 9:00～午後 6:00(うち休憩 60 分)
給与：基本給 20 万円 その他手当 5 万円 賞与：年 2 回
千葉県八千代市島田 55-1 電話 047-488-8788 FAX047-488-7077 担当：鈴木(事務)

介護老人保健施設 ユー・アイ久楽部

募集：言語聴覚士 常勤 1 名 経験者、新卒ともに可 来春より勤務者希望
対象：成人 言語訓練、嚥下訓練 *併設クリニック、訪問看護ステーションでの仕事もあり
亜急性期の訓練や訪問もあります。
給与：基本給 20 万、資格手当 3 万 計 23 万円 賞与年 2 回(4.8 ヶ月) 昇給年 1 回
待遇：交通費、住宅手当あり 各種保険、休暇あり
応募方法：随時受け付け
問合せ先：〒290-0022 千葉県市原市西広 131(小湊鉄道海士有木駅徒歩 10 分)
電話 0436 - 20 - 0701 FAX0436-20-0702 人事担当：古泉、または PT 大城まで

セントマーガレット病院

募集：言語聴覚士 有資格者もしくは資格取得見込みの方
給与：平成 17 年度初任給 23 万円 *既卒者は経験による 昇給年 1 回、賞与年 3 回
待遇：交通費あり 各種休暇あり 各種保険あり 24 時間保育室完備
応募方法：採用試験、見学は随時受付
問合せ先：〒276-0022 千葉県八千代市上高野 450 医療法人 恵仁会 セントマーガレット病院

